

看護にいがた

Vol.
148

公益社団法人 新潟県看護協会機関誌

令和3年
11月20日発行



初雪の棚田

つながる・ひろがる・たかめる～専門性の高い看護～

- 専門性の高い看護職員の育成事業
有資格者の情報交換・活動推進～ネットワークとその活動～⁷
- 県横断的!感染管理ネットワーク新潟の活動⁸
- 新潟県手術看護認定看護師会の活動状況について¹⁰

- 2 | 副会長挨拶
- 2 | 支部の活動紹介
- 6 | ワーク・ライフ・バランスの推進・魅力ある職場づくり
- 7 | 専門性の高い看護職員の育成事業
有資格者の情報交換・活動推進～ネットワークとその活動～
- 8 | 県横断的!感染管理ネットワーク新潟の活動
- 10 | 新潟県手術看護認定看護師会の活動状況について
- 10 | お知らせコーナー
- 12 | 会員の皆様にお得なご案内

新潟県看護協会会員数 (11月1日現在)

◎会員総数 16,310名

保健師 804名 / 助産師 608名 /

看護師 14,350名 / 准看護師 548名

副会長挨拶



副会長
五十嵐 直子

こんにちは看護職の皆様には未だ収束を見ない新型コロナへの対応に様々な職場で尽力されている事に敬意を表します。本当にお疲れ様です。「看護の力で健康な社会を」コロナ禍の今、看護職1人1人の活躍が、社会が目を向け求める看護へと繋がっています。副会長として通算で5年目。人々の健康な生活の実現への貢献、看護職の質の向上、安心して働き続けられる環境への支援等これまでの経験を踏まえ皆様と共に目指します。よろしくお願いいたします。



副会長
渡邊 典子

令和3年6月の新潟県看護協会通常総会で副会長に就任しました渡邊です。COVID-19の流行は、ワクチン接種の拡大により徐々に新たな局面に変わっていくことが推察されますが、我々の想像をはるかに超える大きさで、未だコロナ禍の中にあります。日々保健・医療・福祉の現場で命と向き合っておられる看護職の皆様には心から敬意と感謝を申し上げますとともに、看護の力で一緒に頑張りましょう。

支部の活動紹介



村上支部

村上支部長 田村恵美子

村上支部は新潟県の最北端、16施設が加盟する会員数375人の支部です。村上市周辺は人口減少と少子超高齢化が進んでおり、地域で暮らす高齢者を支える看護の視点が大切となります。地域住民が安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの中で求められる看護の役割を果たしていかなければなりません。

昨年度の支部活動はCOVID19感染拡大に伴い、支部集会や三職能合同研修会を紙面開催としました。終息の見通しがつかない現在、活動のあり方を検討しています。地域住民の皆様はもちろん、日々、感染者への対応、感染対策に真摯に向き合う保健師・助産師・看護師の皆様に向けた役立つ研修や地域活動を考えています。

早く日常を取り戻し、村上地域の美しい四季と伝統行事に触れることができるよう祈ります。

新発田支部

新発田支部長 萩原 幸子

新発田支部では、6月30日に新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し講演会は行わず、新・旧役員のみ参加の集会を行いました。また、8月11日には、新役員での初の会議を行い具体的な活動内容を練りました。

今年度の悩みは、講演会等を中心とする各職能の活動をどのように行うかということですが、その中で、保健師職能では先陣を切って、7月5日に新発田地域行政保健師連絡協議会業務研究会と合同でWeb研修を行いました。「コロナ禍で働く保健師を応援したい！パッと伝わる！公務員のデザイン術～住民に伝わる・響くチラシの作り方～」をテーマにPRDESIGN JAPAN株式会社 佐久間智之氏よりご講演いただきました。住民の目線に立ち、読みやすく伝わりやすい内容とするための工夫などをお話いただき、満足度の高い研修となりました。

その他の職能でもWeb研修を検討中です。コロナ禍ではありますが、「ピンチはチャンス！」頑張ります。



看護師職能役員で活動内容検討

支部の活動紹介

県央支部

県央支部長 丸山 聡子



県央支部では、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら役員を中心に、令和3年6月通常集会を開催しました。特別講演として「生涯自分らしく綺麗に生きる人に～のぞみ叶う和み音と手～」をテーマに美容介護セラピスト&篠笛奏者の長岡和美氏をお迎えし講話と演奏をしていただきました。人生最後まできれいに穏やかに楽しく過ごせる美容と音楽を取り入れたケアについてお聞きしました。篠笛のところが和む音色は癒しのひとときでした。

現在、私たちの生活は、未だコロナ禍にあり、平常を取り戻すまでには時間がかかりそうです。そのような中だからこそ、様々な看護のニーズに対応できるよう、県央圏域の看護職のネットワークを強化し、共に取り組んでいきたいと思っています。



長岡支部

長岡支部長 棚橋 一道

長岡支部では、6月19日に通常集会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス蔓延の影響を受けて中止とし、役員会、委員会の引き継ぎのみ開催し、会員の皆様には、所属先に集会冊子を配布させていただきました。

8月20日には役員会を行い、今年度の研修会、来年6月の支部集会は断念せざるを得ないと判断しています。通常の支部活動は自粛となりますが、行政や医師会などと協力し、感染対策の啓発活動とワクチン接種に取り組み、1日も早い収束のために活動を進めていきます。支部会員の皆様にはご迷惑をおかけしますがご協力お願いいたします。

感染収束がみえず、支部の会員交流、集合研修はできませんが、日々苦勞して業務に当たっている看護職の皆様へ感謝し、県看護協会と連携しながら、この期間に、支部の役割を見直し「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」に取り組んでいきたいと考えております。

(※写真は役員会の様子ですが、極力回数を減らし、短時間で開催しています。)



うおぬま支部

うおぬま支部長 中島 祐子



「これからも苦難を乗り越え・がんばっていく仲間たちへ向けて」
令和3年度のうおぬま支部役員会の面々です。

例年6月の支部集会は昨年引き続いて開催せず、前年度役員からの引継ぎも個々で行われたため、8月の役員会が初めての顔合わせとなりました。

直近の2年間は、COVID-19の感染予防のために集まって活動する機会が持てない状況でした。しかし今年は、ほとんどの医療職をはじめ、住民のワ

クチン接種も進められてきていることから、地域の職能団体として会員の“力”になるような活動をしていきたいと考えております。今後の感染状況によっては不確定ですが、心と体の“元気”につながるような企画を考えているところです。

写真の頃は夏の装いですが、この原稿を書いている今は“米どころうおぬま”らしい黄金色の稲穂が窓の外に広がっています。これを皆さんに読んでいただくころ、うおぬまは“うっすら雪景色”かもしれません。

感染が収束したら、地区外の皆さんも、ストレス解消にうおぬまの景色と澄んだ空気を楽しみにおいでください。

支部の活動紹介

十日町支部

十日町支部長 中條 恵子

十日町支部は、十日町市と津南町からなる会員数約330名の小さな支部です。昨年からの新型コロナウイルス感染症流行のため、令和2年度・3年度の支部集会・講演会は中止となりました。また昨年は職能別の研修も中止とさせていただきました。そのような状況でしたが、住民向け啓発活動の一環として感染予防ポケットティッシュの配布やラジオからの感染予防を働きかけました。今年度は、コロナ禍であっても開催方法を検討し、職能研修会や講演会を計画していきたいと考えています。



妻有地域では病院数の減少が続き、会員数も減少しています。新型コロナの流行に伴い、会員間の交流が難しくなっている今だからこそ、施設間の連携強化が重要となってくると考えます。さらに今後は魚沼医療圏を考慮し「うおぬま支部」との連携・統合に向けて検討も進めていきます。

柏崎支部

柏崎支部長 猪俣 敏子

柏崎支部では令和3年6月26日に支部集会を開催しました。新旧役員の引継ぎと、コロナ禍での開催のため人数を制限して、国立病院機構新潟病院・緩和ケア認定看護師・小俣若子氏より緩和ケアの講演会を行いました。患者さんとご家族へ寄り添った実践をとおしての講演で、参加者からは現場へつなげたいとの意見が多く聞かれました。

7月3日は、柏崎市刈羽郡医師会在宅推進センター・新潟県柏崎地域振興局・柏崎市、刈羽ACPプロジェクト主催の：上野千鶴子氏「いつか一人になる覚悟を持って自分らしく生きる～今だから学ぶこと～」のリモート講演会に共催で参加しました。そして、講演参加者へ支部広報部作成の手洗い励行のリーフレットを配布しました。

今後も、会員の皆様のご意見を聞きながら支部役員一同力を合わせ活動していきたいと思っております。ご支援ご協力をお願いします。



上越支部

上越支部長 藤本 智恵

何かが停滞し、慢性的な不自由さを感じる。そんな時期はまだ終わりではありません。「今自分たちが出来ること」は、コロナ禍で良く耳にする言葉となりました。

上越支部は、昨年のほとんどの活動を結果的に中止致しました。施設間の交流や情報交換なども少なくなり施設にながらも孤立を含んだ焦燥感を抱く会員も増えているかもしれません。そんな会員の心の支援を何かの形でしめたいと、各職能委員が現在取り組みを行っています。集団研修は断念いたしました。看護師職能では「感染対策」をテーマに、保健師助産師職能では「産後メンタルヘルス」についての情報発信を予定しています。専門職として横のつながりが見えた、地域の仲間と一緒に仕事に向かっている、と感じていただける努力を続けたいと思っております。



支部の活動紹介

佐渡支部

佐渡支部長 望月 結花

佐渡支部では、令和3年6月23日に通常支部集会を開催いたしました。コロナ禍であり参加者数を調整しての開催でした。昨年度は新型コロナウイルス感染症のため研修会、会議を縮小、中止せざるを得ない状況でした。会員の皆様の学びの機会や、支部の活動を知って頂く機会が減っていましたので、今年度はリモートでの会議・研修会を実施できる環境を整え、活動の幅を広げていきたいと思っております。

地域包括ケアシステム時代の今日、お互いの顔が見える関係づくりを通じて、会員同士、施設間の連携につながるような支部活動を実施していきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。



新潟東支部

新潟東支部長 名越ミサ子

新潟東支部では例年講演会と研修会を開催してきましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になり、思うような活動を行う事はできませんでした。その中で、地域の方々に向けた「ウイルスに負けない身体を作ろう」ポスターを作成し、啓蒙活動を行いました。

今年度は、新潟東西支部と新潟市の合同で三職能合同研修会を開催します。西新潟中央病院統括診療部長 桑原克弘先生より「新型コロナウイルス感染症」について研修会を予定しています。また、昨年度開催できなかった、講演会につきましても今年度は開催できるように計画しています。

他にも住民の方々への取り組みについても、状況に合わせた情報を提供できるようにしていきたいと思っております。

今年度もまだ厳しい状況は変わりませんが、昨年度の経験を活かして新たな支部運活動を検討し、県協会と協力して地域の住民の方々の健康と福祉の維持、増進に努めていきたいと思っております。



新潟西支部

新潟西支部長 樋口美智子

新潟県看護協会新潟西支部では、2021年6月22日新潟ユニゾンプラザで通常集会及び講演会を開催致しました。小千谷総合病院元看護部長佐藤和美氏より震災体験を通し防災・減災への教訓についてお話頂きました。自施設のマニュアルは実際に動けるマニュアルなのか、見直しが必要などの感想がありました。コロナ禍であらゆる活動を縮小せざるを得ない状況です。慣れないzoom操作ではありましたが会員の皆様の協力通常集会・講演会を終える事が出来ました。終了後のアンケートでは、感染対策や在宅支援関係といった看護ケアを提供するうえで重要な課題に関する研修はもちろん、三職能が職域の枠を超えて交流できるような場があると良いといったご意見を頂きました。

また、会員拡大について看護協会入会の案内配布やポスター掲示、看護学校や老健施設への訪問、配布を行い昨年度より125人の増員となりました。できることを少しずつ増やし皆様と共に頑張りたいと思っております。



「ワーク・ライフ・バランスの推進・魅力ある職場づくり」

2021年度 新潟県労働環境改善推進委員会研修会



「看護補助者の看護業務ワーク・シフト・シェアで上手に協働」

新潟県看護協会労働環境改善推進委員会 委員長 高橋 恒子

看護業務は、在院日数の短縮や高齢者や認知症等の増加で煩雑化してきており、看護補助者の配置は、診療報酬上高く評価されています。

今回、労働環境改善委員会では、看護師と看護補助者の働き方に着目し、Webでの研修会を開催しましたので、以下に紹介させていただきます。

1. 開催日：2021年7月13日

2. 受講者数：41名（対象：レベルⅡ以上）

職種は36名が看護師、介護福祉士・看護補助者4名・その他2名でした。勤務場所は40名が病院勤務、その他1名。職位は副看護部長1名、師長11名、副師長22名、スタッフ6名、介護士他2名でした。参加理由としては、「看護補助者との協働で問題を解決したい」が13名と最も多かったです。

3. 講義内容

「看護補助者の看護業務ワーク・シフト・シェアで上手に協働」とテーマで、筑波メディカルセンター病院看護部長の田中久美先生からご講義頂きました。講義、3～4名でグループワーク、最後に質疑という流れで進めていきました。

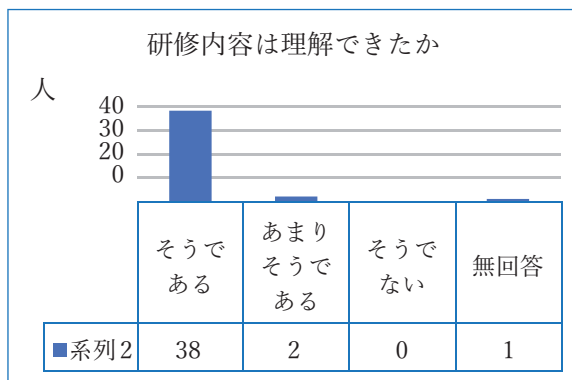


お話によると1991年にアテンダント課として発足後、再編を繰り返し、現在は、介護・医療支援部として独立され、部門理念のもと活躍されています。部門スタッフ78名中59名が介護福祉士の資格を取得されています。介護職としての意識が高く、他部門との指示体制や連携や業務分担の取り決めや勤務管理まで統括しているモデル体制を紹介して頂きました。看護リーダーと介護リーダーが主体的に連携し業務運営している状況をイメージしながら、自部署とはかなり違って、高いレベルに感じました。質疑

の際に、紹介した体制は何年もかかって現在に至ったこと、業務を洗い出すことから始めてみる、何より大切なのは、職種間で話し合いを持ち、よい関係を築くことが大切だと助言を頂きました。

4. 研修の感想（アンケート結果：100%回収）

講義内容は理解できたかの問いに41名中38名が「そうである」、実務に活かせるかの問いには、33名が「そうである」との回答でした。その他に「他施設の看護師と看護補助者の状況がわかった」「他施設の意見が参考になった」「改善すべきことが明確になった」等、身近な問題をグループワークで話せたことも高評価に繋がったと思います。話を聞いてほしい、聞きたい気持ちがいっぱいでした。概ね研修のねらいは達成できたと思います。



5. 課題

病院の機能・背景はみな違いますが、互いに役割や立場を理解し成果を積み重ねていくことが大切です。それは、看護の質向上、スタッフの働きがいに繋がるような変革を推進していくことだからです。そのためには、関係する職種間で業務内容を、あるいは悩みを洗い出す、どうあれば患者や自分たちにとってよりよい働き方になるのかを検討する場を作ること、さらには、協働することの意味・目的、その結果どうなるのかという成果を共通認識することなど、一步一步進めていくことだと思います。

看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド

〈2019年2月 日本看護協会〉

専門性の高い看護職員の育成事業 有資格者の情報交換・活動推進～ネットワークとその活動～

新潟県看護協会 常務理事 五十嵐 伸子

新潟県の人口構成に占める高齢化率は33.0% (2020年)、全国の高齢化率を4.3ポイント上回っています。今後、県内の高齢化率はさらに増加していくと考えられます。新潟県は医師とともに看護師も慢性的に不足しており、医療を支える人材の確保・育成は重要な課題となっています。この状況に対応するためには、看護師の数の増加のみならず、高い専門性をもった看護職員が必要不可欠です。

そこで、新潟県における高い専門性を有した看護職員の育成に向け、支援体制の整備及び、関係機関の役割の明確化、連携促進を図ることを目的に検討を行いました。2020年3月、新潟県立看護大学が中心となり、看護管理者・専門看護師・認定看護師・県内看護系大学を対象に実態調査を行い、検討会の内容も含め、「専門性の高い看護職員の育成検討会報告書」として纏められました。

「専門性の高い看護職員の育成検討会報告書」(以後「報告書」)では、専門性の高い看護職員育成【新潟モデル】を提案しています。

【新潟モデル】とは、専門性の高い看護職員の育成に向け

1. 認定看護師教育機関の設置
2. 受講しやすい環境の調整と支援
3. 専門看護師教育課程の充実
4. 資格所得後の専門性向上のための学習支援及び環境づくりの4つの課題に行政・大学等教育機関・医療機関・有資格者・職能団体が連携し、協働して取り組んでいくものです。

この【新潟モデル】において、新潟県看護協会の役割は、

- ◎県内の看護関係者と「専門性の高い看護職員の育成」に関する基本的な考え方の共有を図る
- ◎県内の看護師が受講できる環境整備の推進を行う
- ◎有資格者の資質向上と活動発展のため、活動の可視化と活用促進の仕組みづくりを行う
- ◎ナースセンターを活用した代替職員派遣システムの確立と考えております。

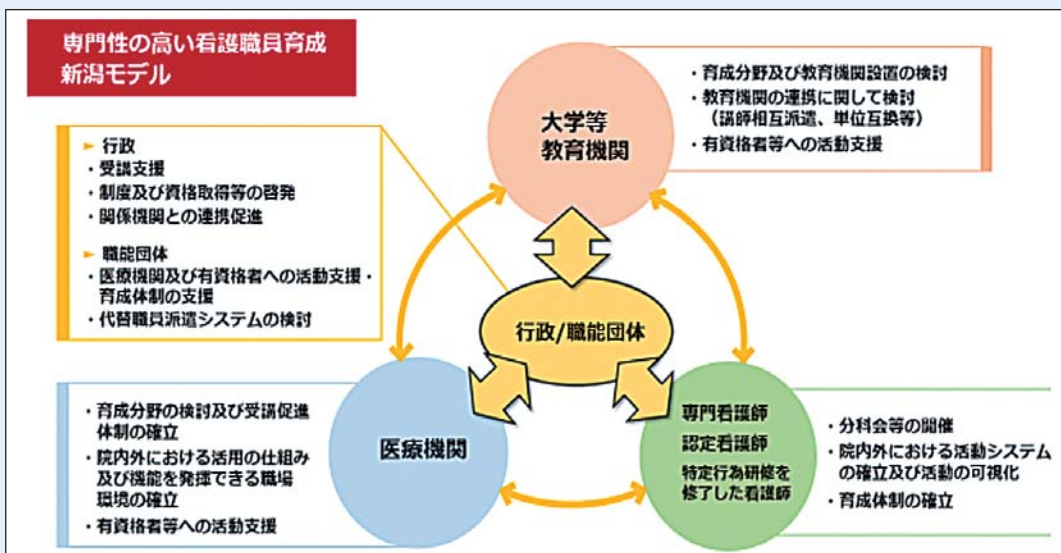
今回の『看護にいがた』では、次ページに認定看護師の情報交換・ネットワーク活動を紹介します。

当協会の教育研修等の講師として垣間見る認定看護師の皆さんの姿勢は、向学心があり、看護に対する責任感・使命感のなかで、自己の役割を懸命に果たそうとしています。しかし、反面、所属施設において、一人で多くの課題をかかえ、判断、実践していく過程は、孤独であるともいえるでしょう。

「報告書」の認定看護師の実態調査では、認定看護師としての活動の推進力となっているもの、という問いに、活動に対する上司の理解と、認定看護師のネットワークをあげています。現在、県内でネットワーク活動がある分野は、感染管理、皮膚・排泄ケア、摂食嚥下障害看護、手術看護の4つの分野です。実際の活動状況を、ご理解いただき、これが発端となり、他の分野でもネットワークの構築や、分野を超えた情報交換、連携のきっかけとなることを願っています。

専門性の高い看護職員が、専門性を発揮することは、地域で生活する人々の健康状態の維持増進、

病状の悪化を予測した予防的対策の提供、多職種との連携による個別的なニーズの充足等の実現へと繋がっていくと考えます。





県横断的！ 感染管理ネットワーク新潟の活動

長岡赤十字病院 感染管理室 塩入 久美子

筆者の私は2016年度よりICNN代表を3年間務めました。以下に近年の取り組みをご紹介します。

新潟県では感染管理ネットワーク新潟（Infection Control Network Niigata：ICNN）という、感染管理認定看護師および感染制御実践看護師（以下、ICN）で構成する会を有しています。2009年に21名で発足し、2021年現在49名となっています。本会は地域における会員相互の交流と連携を推進することを目的に、会員間の情報交換や相談、企業との共催セミナーの企画・運営、県看護協会と連携し施設に向く「出前研修」などの活動を展開してきました。

2012年度に新潟医療関連感染制御コンソーシアム（Consortium against Health care Associated Infection in Niigata：CHAIN）という各施設の感染対策チーム（以下、ICT）メンバーで構成される会が発足し、ICNNはCHAINの看護師部会も兼ねました。CHAINは地域における耐性菌まん延を防ぐべく、医療施設のみでなく、県全体の感染防止対策の質の向上、均てん化を理念に掲げています。



CHAIN ロゴマーク

1. 高齢者介護施設における感染対策の実際と支援ニーズ調査

2017年度に、県下の老人保健施設（以下、老健）、介護老人福祉施設（特別養護老人ホームに同じ。以下、特養）全数を対象に、自記式質問紙による調査を実施しました。質問紙は「高齢者介護施設における感染対策マニュアル（平成25年3月）」（厚生労働省,2013）の項目を参考に平常時の感染対策と感染発生時の感染症発生時の対応について構成しました。

以降は、調査結果の一部です。両施設とも、感染対策委員会設置、マニュアル整備、年1回以上の研修会開催は80-100%でした。現場で行われている感染対策については、排泄関係業務における手袋装着率はほぼ100%でしたが、ビニールエプロンの装着は、おむつ交換時は老健63.5%・特養16.3%、尿回収時は老健57.7%・特老16.3%でした。オムツカート使用許可は、老健96.1%・特養47.6%、尿回収時の同一容器の複数間使用許可は、

老健63.5%・特養43.8%でした。以上から、委員会活動、マニュアル整備などの構造面は整備され、研修会も開催されている一方で、排泄関連業務における標準予防策の実施に関する課題が示唆され、改善のための支援ニーズがあると推測されました。その他、発熱、下痢等の症候サーベイランスなどの平時の体制は整備されていますが、感染症発生時の拡大防止への支援、HIV・疥癬・結核など受け入れた経験の少ない感染症の感染対策に関する情報提供、研修会等への支援ニーズがあるという示唆を得ました。

この結果は、以降に述べる研修会開催に活用する流れとなりました。

ICNN会員 49名

（感染管理認定看護師、感染制御実践看護師）

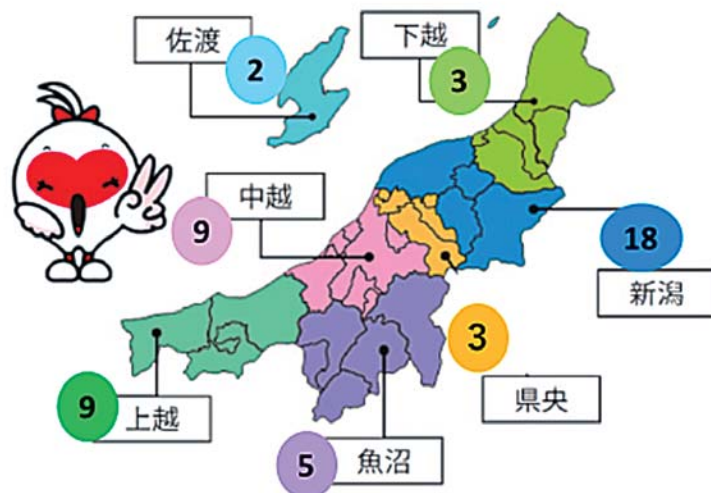


図1 県内のICNN会員

2. 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会・新潟県ワーキンググループの立ち上げ

前述の調査結果で、病院だけでなく、医療が提供される施設では「感染対策マニュアル」があることは確認できました。しかし、その内容が現場で使用しやすい内容になっているかは別の話です。ICNNは、1年間準備をすすめ、2019年度に、日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会・新潟県ワーキンググループを立ち上げました。これは、ICNがアドバイザー（21人が関与）となり、参加要望のあった102名42施設の病院、高齢者施設の看護職等で、根拠に基づいた看護ケアの手順書を1年かけてつくるという活動です。参加者は他施設と情報交換しながら、「おむつ交換」「喀痰吸引」「嘔吐物処理」「尿道カテーテル管理（尿排出）」「環境整備」「創部ドレッシング交換」等の手順書を作成しました。研修会の最終回では、成果物を発表し全体で共有することで締めくくられました。それ以外に、一緒になったグループで、参考になる他施設の手順書をシェアしあう光景もありました。参加者が自施設で使用できる、指導に活用できる手順書は知的財産になるものと感じました。翌2020年度以降も継続を目指し、ICNNで検討を重ねてきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、休止せざる得ない状況となっています。

3. 新型コロナウイルス感染症対策－地域横断的活動

未曾有の新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなり、今なお収束のめどがたちません。2019年末より、私たちICNは日々奔走しています。まずは所属施設における体制整備に邁進してきましたが、これにとどまらず、県とCHAINとの連携した事業開始も背景に、更なる地域横断的な活

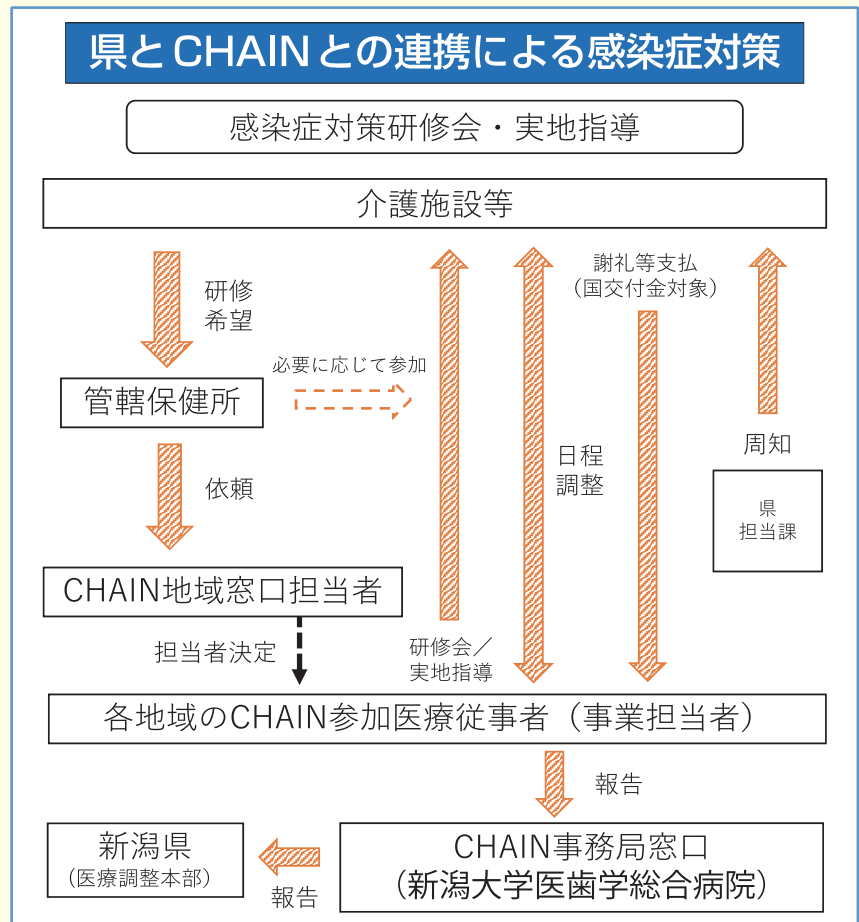


図2 県とCHAINとの連携による感染症対策（2020年度より）

動を展開しています。

ICNNが行った今年7月実施した調査（49人中33人、回答率77.6%）では、2020年度にCOVID-19に関連した感染対策の研修会をのべ100回、実地指導をのべ31回、クラスター対応の実施指導をのべ7回、行っています。対象施設は高齢者介護施設が大半であり、実態調査やこれまでの研修会開催の実績が活かされる形となりました。

調査回答がすべて反映していないと考えると、実際はさらに多く指導の機会を持っていると思います。ICNがいるご施設の方は容易に想像できると思いますが、多岐にわたる業務、それに派生する重責感は相当なものです。それに加えて地域をフィールドに活躍するのは、簡単なことではありません。そこには、各々の使命感、周囲の理解と協力、ICNNメンバーやCHAINなどの組織の支えがあります。難局を柔軟に超えながら、ここまで実践してきたことは、将来の宝になると信じています。そして、収束ののちには、休止中の活動を再開したいと考えています。

新潟県手術看護認定看護師会の活動状況について

新潟県立がんセンター新潟病院 手術看護認定看護師 穴沢 角弥

新潟県手術看護認定看護師会は、手術患者への看護の質向上を目指すと共に認定看護師としての役割を發揮し貢献することを目的に、2012年4月に発足しました。

現在、新潟県の手術看護認定看護師は11名で施設内の活動はもとより、県内での活動も行っています。

主な活動内容は2ヶ月ごとの定例会議で、新潟県内の手術室看護師を対象としたセミナーの企画・運営を議題として行っています。また情報交換の場として、各施設で取り組んでいる活動や認定活動を行っていく上で難渋していることなど、また新型コロナウイルス感染症患者の手術時の対策や災害対応など、看護実践で起こっている諸問題に対して意見交換を行っています。

手術室看護師対象のセミナーとして2013年より手術室配属1年目の看護師を対象に、縫合器・吻合器の取り扱い、内視鏡システムの基礎知識、急変時の対応についてなどをテーマに行いました。グループワークでは手術室配属になり困っていることや体験談など、他施設の看護師間で共有しました。その他のセミナーでは、手術室ラダーレベルⅡ以上を対象に手術室看護師育成のための教育、急変時の看護、高齢者の看護など、ニーズに対応したテーマを設定し開催しました。

その中で2019年に開催した「手術を受ける高齢者の看護を学ぼう」では、他分野の認定看護師と医師との共同セミナーを開催しました。認知症看護認定

看護師による認知症看護について、麻酔科医師による高齢者の麻酔についての講義を受けることにより、異なった専門分野の知見が得られ、近年増加している高齢者の手術看護につなげていくことができました。外部の講師を招いたセミナーでしたが参加者は専門的な講義や具体的なアドバイスを聴けたことにより、満足度の高い結果になりました。私たちも他分野との協働をとおして看護の視座を広げる機会となり、今後もネットワーク構築に向け活動を広げていこうと考えています。

今後の方針としては、定例会を充実させ、コロナウイルス感染症蔓延によって中止を余儀なくされたセミナーを実施するためにオンライン環境を調整する準備を進めています。そして県内の手術看護の発展に寄与するために連携を深め活動を推進して行きたいと考えています。



表) 新潟県内の手術室看護師に対してのセミナー開催実績

開催年	セミナー名	参加者数
2013年から2019年	「認定看護師と手術看護について語ろう」	20～40名
2014年	「手術看護師育成のための教育」	12名
2016年	新潟手術室セミナー「手術体位」	75名
2017年	「術中急変、あなたならどう行動しますか？急変時の看護を学びましょう」	18名
2018年	「術中急変時の看護」	21名
2019年	「手術を受ける高齢者の看護を学ぼう」	31名

お知らせコーナー

ホームページがより見やすく、使いやすくなりました
必要な情報に素早くアクセス 最新の情報をいち早く提供

教育研修課より 研修の案内

●下記の日程で研修を行います。

研修名	開催日程
プリセプター研修Ⅰ	2022年3月7日(月)
プリセプター研修Ⅱ	2022年3月8日(火)

「ナースシップ」よりお知らせ

日本看護協会から「2022年度 継続のお知らせ」が発送されました！

※大切なお知らせですので、必ずご確認ください。

※2021年度の会員さまは2022年度も自動継続になります。

登録内容に変更がない方

提出不要です。

登録内容に変更がある方

- 施設で登録の会員の方は、変更箇所を訂正欄にご記入の上、個別の返信用封筒に入れ、施設の会員代表者様へお渡しください。
- 個人会員の方は、返信用封筒に入れ、郵送してください。

次年度継続を希望しない方 → 退会届を提出してください。

- 退会届は新潟県看護協会HPよりダウンロードできます。
- PCを利用できない方は新潟県看護協会へご連絡ください。退会届をお送り致します。
- お電話での退会は受付できません。必ず退会届を提出してください。

注)会費の納入方法が口座振替の方は、2021年12月20日までに退会届の提出をお願いします。退会届の提出がないと、2022年1月27日に会費が登録口座より引き落としとなります。

入会金 10,000円

(初めて入会する方のみ)

新潟県看護協会費 7,500円

日本看護協会費 5,000円

新潟県ナースセンターからのお知らせ

看護師等の離職時の届出制度 ～離職される看護職の皆様へ届出のお願い～

「看護師等人材確保の促進に関する法律」の改正により、離職時等に保健師・助産師・看護師・准看護師の免許保持者がナースセンターへ自身の情報を届出することが**努力義務**となりました。

【新潟県の届出状況】(2015年10月1日～2021年8月31日)

登録方法	個人登録	施設からの代行	ナースセンターでの代理	合計
人数	1,023	858	1,374	3,255

●看護管理者の方は、退職する看護職員に看護師等の届出制度「とどけるん」の登録をお勧めください。

「とどけるん」は、個人でインターネットを経由した届出をすることを原則としています。届出をした後は、離職した看護職が「またいつか働きたい！」をナースセンターがサポートします。届出内容に変更がある場合はナースセンターにご連絡をお願いします。登録は「とどけるん」で検索または下記QRコードから。

届出対象者

- ◇病院等を離職する看護職
(病院等とは、病院、診療所、助産所、訪問看護事業所、介護老人保健施設が含まれます)
- ◇保健師、助産師、看護師、准看護師の業に従事しなくなった場合
- ◇免許取得後、ただちに就業しない場合
- ◇看護職の資格をおもちで看護職以外の仕事に就いている方



【お問合せ先】

新潟県ナースセンター

TEL : 025-233-6011

E-mail : niigata@nurse-center.net

2021年7月～2021年9月 **新館図書**

1 看護管理者のための医療経営学 第3版
尾形裕也 著 日本看護協会出版会

2 看護白書 令和3年版
公益社団法人日本看護協会 編 日本看護協会出版会

3 新人看護職員研修ノート
坂本すが 監修 日本看護協会出版会

4 ナイチンゲールが生きたヴィクトリア朝という時代
中島彰 編 日本看護協会出版会

5 臨床実践と看護理論をつなぐ指導
阿部幸恵 著 日本看護協会出版会

6 ヤングケアラーを支える
Nursing Todayブックレット編集部 編 日本看護協会出版会

7 看護管理塾 第7章/サルの罠
井部俊子・竹内良子 編著 日本看護協会出版会

8 看護師をめざすあなたへ
高橋則子・堀名穂子・菊池麻由美・安井静子 著 日本看護協会出版会

■発行：公益社団法人 新潟県看護協会
新潟市中央区川岸町2-11 TEL025-233-6550 FAX025-266-1199

https://www.niigata-kango.com/

■編集：広報委員会



編集にあたり皆様方に多くのご協力を頂きまして、有難うございました。今後も協会の皆様に情報を提供していけるよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

広報委員：伊藤/神田/西潟/植木/川口/大堀 koho@niigata-kango.com

新潟県看護協会会員の皆様に **お得なご案内**

三井住友トラストVISA ゴールドカード

通常年会費
11,000円(税込)を
2,750円(税込)



ロードサービスVISA ゴールドカード

通常年会費
12,100円(税込)を
3,300円(税込)



※どちらのカードも、**年会費割引率は2年目以降も同じ**です。家族会員の年費は、**1,100円(税込)**です。

新規ご入会キャンペーン実施中! 2022年3月31日まで

期間中、新規ご入会の方に**2,000円キャッシュバック!**
(家族会員様は1,000円、本会員・家族会員同時ご入会の場合は3,000円)

※キャッシュバックは原則として、初回年会費請求月またはその翌月にいたします。ご利用代金明細書にてご確認ください。更に、**ご利用金額に応じて最大20,000円相当のポイントをプレゼント!**詳しくは貴会HP内のご案内でご確認ください。本キャンペーンは、天変地変の影響により実施困難になった場合など、予告なく変更または終了することがございます。

お申込書の
ご請求はこちらへ



- メールの方: Moushikomi@smtcard.jp
 - お電話の方: TEL.0120-370-070
- ※ご入会には弊社所定の審査がございます。

お電話・メールの方は下記内容のご連絡をお願い申し上げます。

①氏名(フリガナ)②住所③電話番号④所属団体名(新潟県看護協会)⑤団体コード(50205)

※個人情報の利用目的について: いただいた個人情報は、お申込書を送付するためにのみ使用し、第三者に提供はいたしません。

2021.08.5926

看護の専門書のことなら、私たちにお任せください!

会員様
特典

考古堂書店の店頭(古町本店・新大店)で現金でお買い上げの際に会員証をご提示いただくと、ご購入金額の**7%分のサービス券**(100円未満切り捨て)を発行いたします。このサービス券は、次回以降、現金でのご購入の際にお使いいただくことができます。



■古町本店

- 月~土曜日:10時~18時 ●定休日:日曜・祝日
- 駐車場あります**

■新大店(新潟大学医歯学総合病院 東病棟1階)

- 月~金曜日:8時~18時 ●土曜日:8時30分~17時
- 定休日:日曜・祝日

考古堂書店

〒951-8063 新潟市中央区古町通四番町563番地 <http://www.kokodo.co.jp>
TEL.025-229-4050 FAX.025-224-8654 e-mail: post@kokodo.co.jp

新潟県看護協会会員の皆さまへお得なご案内

お会計の際、**会員カード**をご提示いただくと… **5%OFF**

〈対象店舗〉新潟グランドホテル館内レストラン及び、メディアシップ19階フレンチ鉄板静香庵、フレンチ鉄板静香庵 別邸涵養荘

ウォーターフロント&ナイスビュー 新潟グランドホテル

〒951-8052
新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地
TEL: 025-228-6111 (代)
Eメール: info@ni-grand.co.jp



中国料理レストラン

慶楽

本格広東料理の店、慶楽。型にはまらず、独創性豊かな料理長が作り出す料理は芸術そのもの。慶楽特別料理をご堪能下さい。
TEL: 025-228-6172



鉄板焼きレストラン

静香庵

大パノラマを眼下に厳選素材の鉄板焼きを贅沢に味わう至福のひとつとき。
TEL: 025-245-1129



フランス料理レストラン

ニルズ

信濃川、万代橋、柳都大橋と新潟市の絶景を眺めながらフランス料理をご堪能下さい。
TEL: 025-228-6170



日本料理レストラン

静香庵

単品から高級懐石料理まで、日本料理ならではの繊細さは、こだわりの板前が自信をもって提供します。
TEL: 025-228-6171



鉄板焼きレストラン

涵養荘

旧新潟県副知事公舎の歴史ある邸宅をリノベーションし、日本庭園を臨む鉄板カウンターで贅沢なひと時をお過ごしいただけます。
TEL: 025-211-7703

他にも特典があります。詳しい内容は、新潟県看護協会ホームページ (<https://www.niigata-kango.com/>) または、新潟県看護協会総務課 (☎ 025-265-1225) にお問い合わせください。